



ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

京都部 部報

京都部



Bulletin 2009-2010 年度 1号 2009.7 発行

京都部部長主題 豊かな心 熱き思い — 5 5 5 実現に向けて

西日本区理事主題 「すべてのいのちを大切に」 — いのち・平和・環境 —

“Love & Care for All the Living Things”

国際会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」

アジア会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」

“Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」

『豊かな心 熱き思い』 5 5 5 実現に向けて



京都部 部長 山中將平 (第14代)
(京都洛中ワイズメンズクラブ)

一年余り前、次期部長として、京都部の運営を見て、今の京都部が関わることの多さに驚きを隠せませんでした。京都ウエストクラブに入会した30年前は北西部、京都洛中クラブの会長をした20年程前は京滋部、10年前には京都部に。京都のクラブ数も増え、西日本区、京都YMCAの事業を含め、京都部が関わる事業も増えています。

現在、京都部では毎月役員会が開催されます。前期当初、「役員会を二月に一度程度に出来ないものか」と思っておりました。前年度の京都部三役、事業主査さんの働きを見ていますと、協議、報告をしなければならないことが山ほどあり、これは各役員の献身的な働きの結果でもありますが、「やはり役員会は毎月開催」と考えが変わりました。しかし、京都部役員がそれぞれに与えられた職務、スケジュールをこなしていくには、精神的にも、肉体的にも、時間的にも相当なエネルギーが必要です。

部長主題「豊かな心 熱き思い」は、京都部役員が最も忘れていけないことだと思います。自分自身の仕事等で忙しいのに、京都部の職務もとなれば、つつい事務的に処理してしまうことも有り勝ちでしょう。そんな時、「思いやりの心」「奉仕の心」「感謝の心」を思い出し、「熱き思い」でその役割を果たせば、京都部の各クラブ、メンバーの皆さんの理解と協力が得られるのではないかと思います。

昨年末から今年度の京都部書記、会計、事業主査の皆さんと互いの思いを話し合い、思いを共有しながら、スタートを切ることができました。今年度も会員増強、京都部の財政悪化等々、多くの課題がありますが、京都部役員だけで解決できることはほとんどありません。今年度の京都部役員は、「横型リーダーシップ」を徹底し、西日本区、YMCAとのパイプ役としての役割は当然ですが、各クラブ、メンバーの皆さんと事業や課題を共有し、前向きな展開や解決を図りたいと思います。

これから一年、「皆さんと共に歩む京都部」へご支援、ご協力をお願い致します。

09-10 年度 評議会メンバー

09-10 年度 部長公式訪問予定表

構 成 員	部 役 員	部 長	山中 将平 (洛 中)
		次期部長	阪田 民明 (グローバル)
		直前部長	藤田 寿男 (ウイング)
		監 事	新山 兼司 (トップス)
	ク ラ ブ 会 長	京 都	小峠 昌徳
		福知山	西山 昌美
		京都パレス	隠塚 功
		京都ウエスト	牧野万里子
		京都めいぷる	坂下 昌史
		京都キャピタル	瀬本 純夫
		京都プリンス	金丸太一郎
		京都センチュリー	志賀 昭夫
		京都ウイング	井上 英也
		京都洛中	山内 和生
		京都エイブル	片ヶ瀬重雄
		京都グローバル	萩原 隆人
		京都みやび	中原 茂
		京都トップス	廣田 隆治
		京都トゥービー	田中 和幸
		京都東稜	小出石文明
京都ウエル	中村 隆司		
答 弁 義 務 者	部 役 員	YMCA サービス・ユース事業主査	金澤 市郎 (京 都)
		地域奉仕・環境事業主査	松谷 隆史 (グローバル)
		EMC 事業主査	高倉 英理 (トゥービー)
		ファンド事業主査	飛田 幸男 (めいぷる)
		交流事業主査	片山 吉章 (センチュリー)
		広報事業主査	平野 雅幸 (パレス)
		メネット事業主査	西村 寛子 (プリンス)
		書 記	松本 忠正 (ウエスト)
		書 記	太田 雅彦 (洛 中)
		会 計	岡崎 保則 (みやび)
		京都YMCA 統括連絡主事	

クラブ名	月 日	曜
京都キャピタル	7月21日	火
京都プリンス	8月5日	水
京都グローバル	8月19日	水
京都めいぷる	8月24日	月
京都トゥービー	8月26日	水
京都トップス	9月2日	水
京都	9月8日	火
京都東稜	10月8日	木
福知山	10月13日	火
京都エイブル	10月27日	火
京都ウエル	11月2日	月
京都パレス	11月11日	水
京都みやび	11月18日	水
京都ウエスト	11月26日	木
京都センチュリー	1月21日	木
京都ウイング	2月4日	木
京都洛中	3月11日	木

09-10 年度
評議会・役員会 日程表

年	月	日	曜	評議会	役員会
2009	6	21	日	第1回	
	7	3	金		第1回
	8	7	金		第2回
	9	4	金		第3回
		13	日	第2回 (部会同日)	
	10	2	金		第4回
	11	6	金		第5回
	12	4	金		第6回
2010	1	8	金		第7回
	2	5	金		第8回 (合同)
		14	日	第3回	
	3	5	金		第9回
	4	2	金		第10回
	5	7	金		第11回
	6	4	金		第12回 (合同)
		20	日	第4回	

*この予算案は、6月21日の第1回評議会において承認されておりますが、追って会員数確定や前期繰越金確定を反映させた予算書を作成し、第2回評議会に議案提出の予定です。

第14期 予算(案) 2009.07.01～2010.06.30 単位:円

収入の部

科 目	第12期決算額	第13期予算額	第14期予算額	備 考
部費	1,306,500	1,335,000	1,350,000	450人で算出(@¥3000)
部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区より部一律
部活動援助金2	85,800	89,000	90,000	西日本区より部一律 部メンバー1人当り¥200
西日本区ファンド収益	4,080	0		
利息	1,544	0		
単年度収入小計	1,497,924	1,524,000	1,540,000	
前期繰越金	1,096,193	957,087	748,087	
合計	2,594,117	2,481,087	2,288,087	

支出の部

科 目	第12期決算額	第13期予算額	第14期予算額	備 考
事業費	140,000	140,000	140,000	主査活動費@ ¥20,000×7事業
部事業費	331,000	430,000	495,000	
ソフトボール支援金	0	0	0	
会議費	120,100	133,000	125,000	役員会・評議会・三役会会場費等
印刷費	285,376	270,000	284,000	部報・会議資料等
部会補助費	446,000	461,000	450,000	@ ¥1,000×450人(連絡主事含)
研修費	208,000	208,000	208,000	研修会登録費
通信費	44,325	41,000	41,000	郵便・電話・部ホームページ維持費
事務費	30,000	30,000	30,000	
慶弔費	32,229	20,000	20,000	
単年度支出小計	1,637,030	1,733,000	1,793,000	
次期繰越金	957,087	748,087	495,087	
合計	2,594,117	2,481,087	2,288,087	

特別会計収入の部

科 目	第12期決算額	第13期予算額	第14期予算額	備 考
前期繰越金	320,958	250,958	150,958	
一般会計より	30,000	100,000	200,000	リーダー支援金
合計	350,958	350,958	350,958	

特別会計支出の部

科 目	第12期決算額	第13期予算額	第14期予算額	備 考
YEEP支援支出	100,000	0	0	
YC支援金		200,000	200,000	リーダー海外研修支援
予備費	250,958	150,958	150,958	
合計	350,958	350,958	350,958	

第14期 予算(案)支出の部 2009.07.01~2010.06.30 単位:円

科 目	細 目	14期予算額	備 考
事業費	Yサ・ユース事業	20,000	各事業運営費・資料・通信等
	EMC事業	20,000	
	地域奉仕事業	20,000	
	ファンド事業	20,000	
	交流事業	20,000	
	広報事業	20,000	
	メネット事業	20,000	
小計		140,000	
部事業費	YYフォーラム	40,000	
	CSチャリティーボーリング	50,000	
	事業懇親会	35,000	5,000×7事業
	国際協力募金支援	30,000	参加リーダー交通費等
	ワイズデー事業	50,000	
	予備費	10,000	
	合同メネット会関連	80,000	会場費含む
	特別会計へ	200,000	リーダー海外研修派遣支援
小計		495,000	
会議費	役員会	36,000	三条 YMCA 教室 ¥3000×12
	次期役員会	15,000	三条 YMCA 教室 ¥3000×5
	評議会	74,000	三条 YMCA マナホール×1 ホテル×1
	三役会		
小計		125,000	
印刷費	部報	246,000	3報印刷代 印刷2報+ホームページ1報
	会議資料	38,000	
小計		284,000	
部会補助費	京都部部会補助	450,000	@1000×450人(連絡主事含む)
研修費	部長	16,000	1月次期役員研修会
	次期部長	32,000	1月次期役員研修会 3月次期会長主査研修会
	次期主査	112,000	3月次期会長主査研修会
	次期三役	48,000	1月次期役員研修会3名
小計		208,000	
通信費	郵便・電話・振込手数料等	10,000	
	部ホームページ関係	31,000	
小計		41,000	
事務費	事務備品	30,000	
慶弔費	慶弔費	20,000	
次期繰越金		0	
支出合計		1,793,000	

特別会計支出の部

科 目	細 目	14期予算額	備 考
YEPP支援支出			
YC支援金		200,000	
予備費		150,958	
合計		350,958	

***** 京都部 09-10 年度 役員・会長 抱負 *****



京都部次期部長 阪田民明
(京都グローバルワイズメンズクラブ)

2009～2010年度京都部の次期部長の席を暖める事に一抹の不安と重みを感じております。歴代部長様のお働きを見ていますと、大変な事になったと今思っています。何とか、この一年で、山中部長の計画、活動を拝見し次期への参考にしたいと思っております。15年前の初代大槻隆彦部長の時に書記を担当させて頂きましたが、10年一昔と言います如く、京都部の活動、運営も大変な変貌で、戸惑いを感じています。今年一年でよく考えて計画を立てたいと思っております。部長の役割は、各クラブのメンバーによって代わると思っています。クラブ会長様の考えや計画、主査様の事業計画を調整しスムーズに動かす事が仕事と考えます。部運営はメンバー様が考え計画し実行されます。部と区のパイプ役としていきたいと思っております。この一年じっくりと勉強させて頂き次期に備えたいと思っております。



京都部直前部長 藤田寿男
(京都ウイングワイズメンズクラブ)

長いと感じた08～09期も、一つ一つの事業を終えるたびに残り短くなり、とうとう終わってしまったという感じで、山中部長へのバトンタッチです。每期繰り返される事業もその期その期の味を出しながら、主旨や取り組み開始時の思いを大切に受け継いでいます。また長い間続いた事業でも変化する時代に合わなくなれば中止せざるを得ないこともあり、逆に新しい時代に必要とされる事業を立ち上げなければならないこともあります。時々リーダーは常に決断を迫られます。この一年、平穩無事に過ごせるよう期待しながらも、常に気を緩めることなく役員の方々と力を合わせて部長を支え、各クラブから信頼を得る活動を進められるよう努力したいと思っております。また長い一年の始まりです。各クラブ会長さんのご協力、よろしくお願い致します。



京都部監事 新山兼司
(京都トップスワイズメンズクラブ)

いよいよ山中部長を先頭に、京都部第14期がスタートです。「豊かな心・熱き思い」という主題からもうかがえるように人に対する思いやり、ワイズメンである誇りを持ち、それぞれの活動に熱き思いで、人々が明日への希望が持てる社会作りに貢献するという思いでスタートされます。私も京都部の役員に携わって4年目で、今期は監事を務めさせて頂きます。そして最後の年となりましたので、悔いのないよう部役員として少しでもワイズメンズクラブ発展の為に役に立てればと思っております。ここ数年、メン

バー増強がワイズメンズクラブにおいて重要な課題となっています。京都部として555名西日本区として、2000名という目標に向かって各クラブが色々な方策をたて、努力されています。達成するぞとのやる気を持って、根気強く臨んで頂きますようお願い致します。各クラブのメンバー増強に対して側面から色々な援護をしていく事が大事だと思います。その一端を担うことができるよう頑張りたいと思っておりますので、どうか今年1年宜しくお願い致します。



京都部書記 松本忠正
(京都ウエストワイズメンズクラブ)

今期書記に任命されました松本です。自分に一番ふさわしくない役を受けるように言われ、どのように取り組もうかと悩んでいる毎日です。幸いにも太田書記との二名体制。体を動かすことに不足を感じることはないので『頭は太田氏・体は松本』で共にならばいいと思っております。ワイズの大きな運動のひとつである、「ボランティア社会の構築」を目指す団体の一員として非力ながら精一杯努めたいと思っております。山中丸を支え一丸となれるよう皆様のご協力をよろしくお願い致します。



京都部書記 太田雅彦
(京都洛中ワイズメンズクラブ)

私は山中部長と同クラブ所属で、ウエストクラブの松本さんと2人で書記をさせて頂きます。洛中クラブ03～04年度会長を拝命した時は、毎日のように様々なFAXが届き、時には切り張りして加筆そしてコピー更にはFAX再送信していたことを思い出します。今回、過去1年半の電子データを引き継ぎながら、次期書記として昨年12月ころから、パソコンで資料づくり→メール送信→返答受信→まとめ加工・・・とパソコンづくしを体験中、これも時代なのでしょうが、かたやカブレナイヨウにも臨みたいものです。各クラブと事業主査や部役員の情報パイプ役として、部全体の更なる活発化に繋がるよう務めさせて頂きます。みなさまの大いなるご協力を頂きますようよろしくお願い申し上げます。



京都部会計 岡崎保則
(京都みやびワイズメンズクラブ)

今期京都部の会計を担当させて頂く京都みやびクラブの岡崎です。山中京都部部長の京都洛中クラブと京都みやびクラブが兄弟クラブという縁で京都部の三役のひとつを任されることになりました。1年間、部費という形で京都部の全メンバーからお預かりした貴重な資金を山中部長のもと慎重にかつ正確にそして有効に生かしていけるようそ

の責務を果たしたいと存じます。各クラブの会計の方には部費の納入等多々ご依頼申し上げることとなりますが、何卒、1年間宜しくお願い申し上げます。



京都部統括連絡主事 加藤俊明
(京都YMC A)

4月より京都YMC A本部事務局に異動になり京都部の統括連絡主事を拝命いたしました。同じ京都部のワイズメンズクラブといってもそれぞれ特色があり、規模も活動も歴史もさまざまです。しかし京都YMC Aの活動を支えるという目的においてはいずれのクラブにおいても変えることはありません。京都YMC Aは、現在公益法人化に向けて様々な条件整備を行いながら申請準備を進めているところですが、公益法人となることで今まで以上に公益性のある団体として認められることとなります。このことは、公益団体を支えるクラブとしてのワイズメンズクラブの社会的評価にも少なからず影響し、メンバー増強に結びつく効果をもたらすのではないかと期待しています。京都YMC Aの公益法人化に向けてご支援、ご協力をお願いします。



**YMC Aサービス・ユース事業
主査 金澤市郎**
(京都ワイズメンズクラブ)

Yサ・ユース事業に多くのメンバーが参加してもらえるように努力する。

YMC AサービスはYが行う事業はすべてが対象となります。先ずその事業に参加することが事業を支援し盛り上げてゆくことになり、きっと少なからず満足感が得られるのではないかと思います。また、YMC Aを知って何が出来るか考えておかねばなりません。その一端としてリーダーの活躍を知ることも大事かと思っています。YYフォーラムはその活躍がよく理解できるプログラムです。悩んだことや苦勞話、そして喜びを聞けるのは卒業祝会での報告です。きっと感動すると思います。私はワイズメンズクラブの名を売ることでも大事ですが、YMC Aの活動に寄与することはもっと大事だと思っています。すでにスタートしていますが、各事業に多くのメンバーが参加してもらえるよう発信してまいりますので、ぜひご協力をお願いいたします。



地域奉仕・環境事業主査 松谷隆史
(京都グローバルワイズメンズクラブ)

今期、京都部の役員を務めさせていただきます。京都グローバルクラブの松谷隆史です。地域奉仕の事業は大変忙しい事業でもあります。これも各クラブ様の御協力がある事業です。また地域奉仕活動の事業であるUGP5ヵ年計画「HIV/AIDS」の最後の年でもあります。各クラブ様のお力を借り「HIV/AIDS」拡大を防ぐ活動をして行きたいと思っております。歴代の地域奉仕主査様の活動され

てきましたことを無駄にせず。京都部の各クラブ様と多くのワイズメンと共に頑張りたいと思っております。また各クラブ様で、支援先の施設やまた地域の奉仕活動をされていますので、できる限りの事ではありますが、私も協力させて頂きたいと思っております。またグローバルな地域に対しても奉仕活動をして行きたいと思っております。その中でも、今、世界中でも問題になっております環境問題への取組みにも、各クラブ様より沢山のご指導とご協力を頂き、積極的に環境問題への取組みもして参りたいと思っております。そして、ワイズメンズクラブの存在を、地域にアピールして行きたいと思っております。まだまだ至らない部分が沢山あると思っておりますが1年間頑張つて参りますので、どうぞ皆様よろしく申し上げます。



EMC事業主査 高倉英理
(京都トゥービーワイズメンズクラブ)

人と人とのつながりを大切に、より充実したクラブの活動のお手伝いができればと考えています。MとCを大切に、しっかりと活動することが、クラブの活性化につながります。活性化したクラブには自然に人が集まってきます。また新しいメンバーが加わればクラブはもっと元気になります。こうしてプラスの連鎖が始まりだすと、それがエクステンション(新クラブ設立)への活力になってゆくのです。こんなわかりきったことですが、EMCに王道はありません。基本を忘れずにこつこつと、それが私の抱負です。各クラブの横のつながりをもっと密になること、クラブの活動の基本である例会をさらに充実させることもEMCにとって大切な要素と考えます。合同例会、合同事業、他クラブ例会訪問の活発化と例会の充実につながるよう京都部HPに各クラブの例会等の案内とスピーカーバンクを掲載します。そこで各クラブのみなさまへお願いです。ビジターに来て欲しい例会や事業の案内、良かったスピーカーのお話、そういう情報を「eri@kyoto.email.ne.jp」までどしどしお寄せ下さい。みなさまのお力で各クラブを盛り上げて頂き、京都部全体がさらに飛躍することを願ひ、一年間務めさせていただきますのでよろしくお願い致します。



ファンド事業主査 飛田幸男
(京都めいぶるワイズメンズクラブ)

ファンド事業は、切手と献金が主な事業となります。メンバーに理解をして頂く為に工夫をし、献金を一人でも多くメンバーにして頂ける様努力したいと思います。又BF代表を部から輩出出来るように活動して行きたいとも考えています。ファンド事業といえば、各クラブが行っている「じゃがいも販売」だと思っておられる方も多いのではないかと思います。確かにファンド事業ではありますが、ここで云うファンド事業は、BF(ブラザーフード基金)、EF(国際信託基金)、JWF(西日本ワイズ基金)の事です。今年の奥田一彦(大阪サウス)ファンド事業主任は、BFは\$15(¥1650切手を含む)、EF1口\$100

(¥11,000)、JWF 1口 5000 円と目標を掲げられておられます。私も同様を目標とさせて頂きました。しかし昔と比べると少し変化して来ています。例えばBFは数年前には、一人 3000 ポイント (\$ 25) であったものが \$ 15 になり、それも円高なので ¥1650 となりました。EF も 1口 \$ 100 は一緒なのですが ¥12,000 から ¥11,000 としやすく、又 JWF も 1回 10,000 円以上から 1口 5000 円とハードルが低く設定されて来ています。従ってメンバーなら誰でも簡単にファンドして頂けるという状況になってまいりました。そして切手収集などカットを多くの方が集まり、ワイズ談義等を語りながらして頂くと意義がぐんと上ると思います。部長訪問で随行させていただき折りには皆様にお願ひしますので、いやがらずに、断らずにファンドをお願いします。どうぞ、ご理解の程、宜しくお願ひ申し上げます。



交流事業主査 片山吉章
(京都センチュリーワイズメンズクラブ)

未だIBC・DBCの締結をされていないクラブへの働きかけをしていくと共に締結される事への実現。YEEP・STEPへの協力参加。今期中京都部長のもと交流主査を拝命いたしました。まず今期何がやりたいかと申しますと、京都部の中で未だIBC・DBCの締結をなされていないクラブに是非とも締結への働きかけをしていくと共に、又締結はされていても休眠状態であったり等のクラブに是非とも今一度考えていただく橋渡しになればと思っております。又YEEP・STEPに関しましてはまずこの意味や手続き、どの様にすすめるか等、幸いなことに私の娘が昨年STEPでカナダへ寄せていただきましたので今でしたら未だ娘も私も鮮明に覚えておりますので各クラブの皆様はその時のご報告やその時の娘の気持ちや親の心境などお伝え出来ればと思っております。この一年間よろしくお願ひ致します。



広報事業主査 平野雅幸
(京都パレスワイズメンズクラブ)

広報主査を拝命しました、京都パレスワイズメンズクラブの平野です。部の役員をさせていただくのは初めてですが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願ひします。現在、三条YMCAロビーに設置されている京都部掲示板の継続に加え、今期、新たにブリテンファイルの設置をします。WEB上でブリテンを公開されているクラブもあるかとは思いますが、一冊のバインダにブリテンを綴じて、三条YMCAにこられた方に読んでもらえるようにしたいと思っています。また、大槻さん(京都部前期監事)より引き継ぎホームページを管理、運営させていただくこととなりました。便利なものと出来るように努力します。広く知らせたい情報はなるべく早く発信し、有用なものにしたいと思っ

ています。さらには他の主査との連携によりワイズメンズクラブを活性化させて『555実現に向けて』の目標達成に努めたいと思います。そのためにはワイズメン一人ひとりの力が必要です。どうかご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



メネット事業主査 西村寛子
(京都プリンスワイズメンズクラブ)

メネット事業については各クラブによって捕らえ方が様々で、活動についても色々意見が分かれるところです。またメネットさん自身、メンの活動についての理解や関心の程度もまちまちですが、ワイズメネットという大きな共通点で結ばれたメネットさんがその力を集結してメンのよき理解者・サポーターとしてワイズライフをともに楽しめる活動が出来ればと考えています。今期、メネットアワーを一般の方々にも参加いただける性質のものとして企画し、その参加呼びかけを通してのワイズの広報、参加していただくことによるワイズ活動への理解と入会勧誘が出来ればと考えています。その企画と実現までの過程を、そしてもちろん企画そのものを京都部のメネットさん全員で楽しみたいと思っています。クリアしなければならぬ問題点は多いかとは思いますが皆様のご協力を願っています。



京都ワイズメンズクラブ
会長 小峠昌徳 (第62代)

<会長主題> つなげよう、つたえよう、
ワイズメンの心と活動を。
～10年あとの京都クラブを。

このたび、歴史ある京都クラブの第62代の会長を務めさせていただくことになりました。私が、京都クラブの会長としてできることはなにか？それは、成熟した大人のクラブである京都クラブにおいて、現在45歳、入会して6年と、比較的まだ日が浅く、経験も少ない立場から京都クラブを見つめることです。そして、伝統ある京都クラブの活動や考え方を生かしつつ、私のような立場だからこそのわかることや疑問に思うことを、どんどん前向きに発信していこうと思います。そして、何より重点を持って進めていきたいのは、新しいメンバーの増強です。現在、京都クラブのメンバーの平均年齢は59歳です。来年には60歳になろうかとしています。このようななか、私のクラブ副題にもありますが、このままでは10年後の京都クラブを考えますと、果たしてこの伝統ある事業活動やポリシーを伝え続けていけるのでしょうか。大いに不安に思うところです。新しいメンバーを増強していかないとクラブ活動の活性化は図れないでしょう。ただ、このメンバー増強の課題は、すぐに一朝一夕に解決できるものではないと思います。このことは、京都クラブの抱える課題として、メンバー全員の共通課題であるというコンセンサスを持って、粘り強く取り組んでいかなければならないことだと思っております。この2年間、会長をはじめEMC委員長を主体として取り組んできたことが、ようやく実を結びつつあります。20歳代のメ

ンバーが2人も続いて入会されました。この流れを途絶えさせることなく、引き継いでいきましょう。皆さんが大好きで大事に思っている京都クラブでありませんか。ぜひ、10年後も今と変わりなく、明るく元気で楽しい京都クラブであるために・・・。「点滴、石を穿つ」の精神で、粘り強く取り組んでいきましょう。また、メンバー増強のためには、もう一つ、内部からの変革も必要でしょう。ある意味、京都クラブでは、「そんなことは言わなくてもわかる」ということ、「なにを今更・・・」ということが多々あると思います。それは、長年のメンバー同志の付き合いの中で培われた、意識しない「意識」があると思います。しかし、それはややもすると、新しいメンバーにとって非常にわかりづらい、溶け込みにくいものとして映るかもしれません。ここは、もう少し原点に帰って、メンバー同志の「コミュニケーション」を図っていければ、クラブの更なる活性化につながると思いますし、ひいては新しい方が馴染みやすい、開かれた印象のクラブになっていくと思います。したがって、各事業委員長にはEMCを意識した取り組みとともに、メンバー同志のコミュニケーションが図れる企画をお願いしたいと思います。何事もあまり難しく考えるのではなく、‘そんなこと「こんとんじょのいこ」(=「簡単じゃないか」、このように言うと皆さんも「えなり かずき」になれます。)の気持ちで、一年間頑張っていこうと思います。なぜなら、京都クラブには素晴らしい先輩方がついておられますから・・・。どうぞ、よろしくお願い致します。



福知山ワイズメンズクラブ 会長 西山昌美

<会長主題>
ワイズ活動に光を・・・

会長主題を「ワイズ活動に光を・・・」としたのは何故か、一寸神だのみのめです。実は私が本気で思っているからです。私が福知山クラブに入会したのは今から20年近く前のことです。時期について記憶が定かでないのは誘われて顔を出していたら知らぬ間に会員になっていたからだと思います。当クラブのスポンサーは「京都クラブ」で1963年チャーターから46年経っています。チャーター当時は20名以上の会員がいたと聞いています。それが少しずつ減って私が入会した頃は存続の危機が感じられたようです。現在チャーター以来の会員は3名です。全員高齢ですが、継続を合言葉に頑張っている姿を見て、この人達に光を当て、更なる活動の指針としたいのです。私が入会して以来、新入会者で退会した方は5名を超えています。私が思うその理由の一つは「ついて行けん」ということです。永年の空気に慣れた人達との間に考え方のずれがあったということです。その方々の意見が先輩会員の考え方と落差があったので「ついて行けん」という言葉になったと思います。昨年未近く田中基靖ワイズが亡くなり、一手に引き受けて発行されていたブリテンが休刊となってしまいました。今期はこれの再発刊が当面の目標です。勿論新人の募集も最大の目標ですから先に記した私見を考慮しながら進めて行きたいと思っています。



京都パレスワイズメンズクラブ 会長 隠塚 功

<会長主題> 感謝 (Thank you) の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！

パレスクラブは来期40周年を迎えます。この節目の年を盛り上げるために、基盤を整備するのが今期の役割です。その上で私たちが認識しなくてはならないことは、「感謝」の気持です。諸先輩方や仲間はもちろん、私たちの活動を支えてくれているメネットやコメットなど、あらゆる人たちへの感謝の念が必要であり、そのことを意識して活動できる1年にしたいと考えています。実際の取り組みとしては、まずは例会や委員会の充実です。例会だけでなく委員会、全てのクラブ事業への積極的参加を促し、一層のメンバー間交流を深めていきます。またHAを特別例会に集約することでメネットやコメットの参加しやすい土壌作りに努めます。次に、ワイズメンズクラブ国際協会に所属していることを実感できるようにYサ活動を見直し、そしてIBCやDBC活動の充実にも努めていきます。さらに、奉仕事業の柱の一つであるCS環境事業についても、メンバー獲得や奉仕活動への意識高揚につながるものと位置付け、新たな事業にも着手していく予定です。これらに取り組んで、38年間に渡って築かれた土台を更に強固なものとし、40周年に向けてはずみを付ける1年にしていきたいと考えています。



京都ウエストワイズメンズクラブ 会長 牧野万里子

<会長主題> “プロジェクトW総集編”
夢をあきらめないで！

プロジェクトWとは、WEST、WIND、WEATHER、WATER、WOODS、各々の頭文字で形成されております。環境問題に積極的に取り組むことを考えて、24期の会長主題として立ち上がり、パートIIとして25期に引き継がれました。今期ウエストクラブは30周年を迎えます。「このプロジェクトWで取り組んできた事を何かの形にして、次の世代に伝えていきたい。」という思いから、「プロジェクトW総集編」と表現させていただきました。人々の環境問題に対する関心は高まりつつありますが、地球温暖化による異常な気象現象等が後を絶ちません。一人一人が環境問題に取り組み、自然を再生していく事が、平和な生活を送る第一歩ではないでしょうか。クラブのシンボルマークである“竹”BAMBOOには「若竹のごとく天に向かってまっすぐ成長していく。」という設立時の理念がこめられています。竹は一本の母竹が毎年地下茎を生み、地上に美しい若竹を生み育て、さらに子の地下茎を産み、力強く永遠に生き続けます。ウエストクラブの100周年に素晴らしい贈り物ができるように、メンバー一丸となって、次のステップを踏み出して行きたいと思っています。夢をあきらめないで！



京都めいぐるワイズメンズクラブ
会長 坂下昌史

<会長主題> 魂の継続～
25周年から50周年に向けて

25周年を終えこんなにも早く会長という大役がまわってくるとは思っていませんでしたが、この度会長を務めさせていただく事となり、まさに身の引き締まる思いです。入会して8年目と経験も浅く、実はワイズの事をよく解っていない事は、皆さんが一番よくお判りのことと存じます。私が唯一、解っている事といえば、このクラブは会長が心もたなくとも、経験豊富なメンバーが的確にアドバイスしてくれて、実行力に秀でた中堅メンバーが要所々々を押えてくれて十手先まで読んだ手配してくれて、勢いのある若手メンバーが活気付けてくれているクラブであるということ。

幅広い年齢層のメンバーひとり一人が様々な形で自主的に前向きに参加して、国内外の他クラブとも積極的に交流してクラブライフをエンジョイできる、そういうクラブであるということだけは解っているつもりです。ですのでメンバー全員がもう一度一丸となりクラブを盛り上げて行きたいと思っております。

メンバーのアドバイスには真摯に耳を傾けつつ、御支援、御協力をいただきながら、メンバーと一緒に、無理をせず、気負わず自然体で、経験の浅さを前向きに考え、頓珍漢な提案を皆さんに投げかけながら、自分自身1年間楽しんでいきたいと考えております。私は体に障害があり野外活動等の体を使う奉仕活動はできませんが、例会や野外活動は100%出席し自分の個性を生かし、私にしか出来ない“楽しいめいぐるづくり”をしていきたいと思っております。至らぬ点だらけの会長ですが、メンバーの皆さんの力で楽しいクラブにしていきたいと思っておりますので、一年間宜しく願いいたします。



京都キャピタルワイズメンズクラブ
会長 瀬本純夫

<会長主題>
Ongoing Legacy, and Brotherhood
～継続、そして結びつき～

今期の主題としましては『Ongoing Legacy, and Brotherhood!!～継続、そして結びつき～』としました。現在のキャピタルクラブのメンバーは年齢差実に47歳、ワイズ歴では37年の差があり、とてもバラエティーに富んだ構成となっております。

それでいて、とても素晴らしい関係が受け継がれております。経験豊富なメンバーは新しいメンバーの良きアドバイザーとして、そして新しいメンバーはそのお手本を活かし積極的に活動しており、メンバー間の絆が深く結ばれていると思っております。

今期はその絆の源であるキャピタルスピリットを受け継ぎ、そしてもっと大きな一つの輪となり、魅力溢れるクラブとなっていくよう努力してまいります。さらに、そのことからキャピタルクラブにふさわしいメンバーが増えていくことを願っております。

キャピタルクラブは次期に仁科ワイズを西日本区理事と

して輩出し、併せて西日本区大会をホストすることが決まっております。横浜国際大会(2010-08)、そして京都での西日本区大会(2011-06)には、京都部の皆さまの大きなお力が必要です。皆さまのお力をぜひお貸しいただきますよう、何卒よろしく願い申し上げます。



京都プリンスワイズメンズクラブ
会長 金丸太郎 (24代)

<会長主題>
「語り合おうワイズで」思いやり・笑顔

初代廣井会長がプリンスクラブを発足されてから第24代目の会長をさせていただくことに成りました。プリンスクラブも、次々期で25周年を迎えようとしています。又今期、我がプリンスクラブより西日本区EMC主査廣井ワイズ、西日本区LD委員古川ワイズ、西日本区組織検討・安全対策委員森ワイズ、京都部メネット主査西村メネットと多数のメンバーを区、部に輩出しています。私くしは、今期新たなクラブスローガン「子供達の未来のため」、行動指標「家族と一緒に」のもと会長主題を「語り合おうワイズで」副題、思いやり・笑顔とさせていただきます。盛大な25周年記念例会にするためには、メンバー増強は必要不可欠です。メンバーを増やそうと思えば、メンバー自身がクラブ・例会が楽しく、人を呼べる雰囲気作りが大事だと思います。

今、不況で暗い事、ニュースばかりです、そう言う時だからこそワイズに集い、思いやり・笑顔で嫌なことを忘れワイズの事は勿論、ワイズ以外でも色々事を語り合うことによってメンバーシップが生まれるし、語り合うことによって「よし、明日も頑張ろう」と元気になるし、ゲストも連れて来易くなると思っております。

クラブ事業も、「子供達の未来のために」今、プリンスクラブは何が出来るかを考える事により、プリンスクラブ事業、25周年に相応しい事業が策定出来ると思っております。色々な意味で、今期は25周年に向けての土台創りの期だと考えております。

又、クラブを続けるには家族の理解・協力が必要です、「家族と一緒に」「語り合おうワイズで」思いやり・笑顔を持って、プリンスクラブのメンバーがひとつになれば素晴らしい25周年、素晴らしいクラブに成ると確信しています。



京都センチュリーワイズメンズクラブ
会長 志賀昭夫

<会長主題>何も足さず！何も引かず！
＝今あることに「何か」をプラス＝

ここ数年、低迷気味の当クラブを活性化するには「メンバーの若返り」が課題との認識はクラブに浸透しているのは事実だが、私も含めて答が出せていないのもまた事実。一人ひとり、その重要性は十分過ぎるほど感じているのに何故？と問われると行き詰るのは私だけではないと思っております。

この一年、私を初め、みんなで「考える」一年になればと、極めて抽象的な、しかもどうとでも取れる主題を掲げてみました。「考えて動いてください」、「動いて考えてください」、「過去を振り返り・今を見つめて・これからを考えてください」その中から何かを見つけて、自分の行動を見つめて、新たな一歩を踏み出して行けるものと信じています。

同じメンバーでも、いろいろな状況を抱えて居られるはずで。みんなが同じことが出来るはずがありません。「自分にできることは何か」を考えて「考動」すれば、何かが見えてくるはずで。

人より遅い歩みであってもいいと思います。メンバーみんなが楽しみ、交流し合って、自らを高める何かを見つけ、その輪を少し広げる努力があれば今以上に、楽しいクラブになるとおもいます。

「明日はきっと晴れ！」一日一日を大切に、メンバーを大切に一年間を歩みたいと思います。



京都ウイングワイズメンズクラブ
会長 井上英也

<会長主題> 少年のように。
YMCAと共に。

熱く語り合う。仕事に関係なく年齢も関係なくそんなことってなかなかできませんよね。私がワイズメンでなかったらそんな機会に恵まれなかったと思います。私も11年目になりますが、今までは言われたことをやるだけでそんなに積極的なメンバーではありませんでした。しかし熱い思いを持つ人のリーダーシップに引っ張られ、今では生活のなかでもかなりのウエイトをしめるようになり一緒に語り遊ぶことが楽しくなりました。

ワイズメンズクラブの目的に「YMCAと共動してよりよい世界の実現を目指そう」と記されています。毎月の例会・YMCAやCS事業への参加・サポートなど、すべてのワイズメンズクラブの活動はその前提の元にあることを確認しましょう。

そんなきれいごとと言っても駄目、世の中こんなものかと思うのではなく、壮大な理想に向かってこうあるべきだという前向きな考えを持ち続けましょう。

例会は目的を共有する仲間が集まる場所です。私は例会に行く心と心が純粋になり素直になります。そんな貴重な時間を大切にする為にも例会には必ず出席しましょう。メンバー間には様々な考え方や意見の違いがあります。議論の中でぶつかりあうこともあるでしょう。けれどお互い認め合い許しあい他人を思いやるやさしい気持ちを持って切磋琢磨していきましょう。

もう一つ大切なことがあります。ワイズメンズクラブの目的を引き継いでくれる若手の育成とメンバーの増強です。1人が1人という大目標を設定し、強い思いで取り組みましょう。不可能ではありません。ウイングクラブのますますの発展の為にどうあるべきかを考え語り合しましょう。少年のように。



京都洛中ワイズメンズクラブ
会長 山内和生

<会長主題> 共に奉仕する（はたらく）喜び。未来の主演達と共に活動しよう

我が洛中ワイズメンズクラブは本年度でクラブ設立21年を迎えました。その歴史のなかでは本当に多くの事業があり、多くの人たちとの出会いもありました。

21年という歳月に、我々がクラブの活動としてきた事業はすべて有意義なものであったと思います。しかし近年メンバー数の減少からその事業も縮小することがふえてきました。やはりメンバー増強がなにより大切と痛感しています。

クラブメンバーだけでの活動ではなく、我々をサポートしてくれる仲間を広く呼びかけたいと思います。

そして児童養護施設つばさ園のこどもたち、職員先生方ともいっしょになって奉仕活動を行っていききたいと思えます。

こどもたちに「社会の役に立っている！」と感じる経験をしてもらいたいです。それが“共に奉仕する（はたらく）喜び”です。今期は部会ホストという大役を受けています、メンバー全員で部会の成功の為にがんばっていきます。二度目の会長就任ですが、前回の経験を糧にした実りある一年になるよう努力してまいります。



京都エイブルワイズメンズクラブ
会長 片ヶ瀬重雄

<会長主題> 笑顔で（迎、向）えて、感謝で（送、贈）る。無理せず、少し頑張ろう

京都キャピタルクラブのスポンサーにより、今期設立20年になります、設立時30名、その後40名近いメンバーで活発な事業委員会活動を続けてきました。その間多くの人達との出会いがあり、感動や元気をいっぱい頂いてきました、5年前東稜クラブをチャーター、その後退会者等があり現在は16名（連絡主事含む）です、毎年必ず回ってくる三役、委員長に息を抜く間もない年が続いています、やはり頑張った翌年はチョト一服するそんな時が必要と思います、

又、活発な活動を続けていく為にもメンバーの増員、増強が必要なことですが一番難しい問題でもあります。只19期から20期へ1人の退会者も出さず引き継げたことはメンバー一同に感謝です、これには19期の多大な頑張りがあったからこそと思います。

19期の頑張りを受け継ぎ、クラブ存続の為に徹底的にビジョンを語り合っていくべきだと思います、先がなかなか見えない社会情勢の中で、若い人も中高年も、有資格等のため、時間、費用を取られ、なかなか奉仕活動に目が向かないのも現実だと思います。

今までやってきた事に無駄なことは何一つありませんが、ややもするとマンネリの中で過ごしてきていることは無いかな、足元を見つめ直し少人数の利点を生かし、自己研鑽を前面に出し0からのスタートの意気込みで努力していききたいと思えます。



京都グローバルワイズメンズクラブ
会長 萩原隆人

<会長主題>あなたの笑顔がみたいから。
For the smile of all

グローバルクラブはYMCAの事業やワークでも常に20数名が参加するなど、ただメンバー数が多いというだけではない行動力と高い意識があります。だからこそ先日の西日本区大会でも多くの事業で表彰をして頂き、優秀クラブ賞の栄誉が頂けたと思います。このようなクラブの会長をさせていただくのは本当に名誉ですが、同時に多くの不安も感じております。グローバルでは規律ある例会、奉仕活動等、素晴らしいものがあります。また新しいメンバーにチャーター時の想いを伝え、クラブのあり方を考えるビジョン委員会では常にその方向性を確認する等の作業も行っております。今期17期では20周年に向けてアジアに学校を贈る準備を始め、来期の京都部部会開催に向け実行委員会も立ち上がります。メンバー皆がより強い絆を持ち、同じ目標に進んでいけるようにとの思いを込めて、主題を「あなたの笑顔がみたいから」とさせていただきます。笑顔あふれる例会を、笑顔あふれる親睦を、笑顔のあるところ、楽しいところに人は集まります。そして多くの新しいメンバーを迎え、更なる発展を目指していきます。歴代会長初めメンバー皆が作り上げてきたグローバルを次期に次々期に繋いでいく事に専心していきます。どこかに私らしさを出せるように1年頑張っていきます。どうか京都部部長をはじめ役員の皆様、会長様方ご指導応援お願いいたします。



京都みやびワイズメンズクラブ
会長 中原 茂

<会長主題>ひるがえれ希望の旗よ。
みんなで描こう みやびの未来地図

2回目の会長を務めることとなりました。8年前に会長職が終わろうとするとき、そう引継例会のとき、みんなに支えてもらった感謝の気持ちで心にぐっとくるものを感じました。そしてよくやったなという安堵の気持ちと、なんか一年やってワイズがようやく解ってきた感じで、もう一度やってみようという気持ちも、おきてきたものだった。それが今ここにまた現実のものとなり、少しは前回より成長した中原を、みなさんにお見せ出来るように気合いをいれていきます。まずは、メンバーの増強となります。いいなと思われることをしていることが、人が集まる要因と考えます。それは、目的を持って充実した奉仕活動でしょう。今まではこちらに重きをおいていましたが、今回は月に一度の例会内容の充実を力を注ぎ、来て良かったこんなやつらあいつにも聞かせてやりたいと思える様な内容を、EMC・ドライバー・書記と密接に連携しあって進めていきたいと考えております。再来年は部長輩出その翌年は20周年とクラブの節目が続きます。一年にひとりづつでもいいから増やして行きたい。3回目の会長となると、それは問題である。



京都トップスワイズメンズクラブ
会長 廣田隆治

<会長主題>思いをこめて。
分かち合いと奉仕に感謝

「修証一如」

トップスの第16期会長を務めさせていただきます廣田隆治です。1年間よろしく申し上げます。タイトルに格好よく四文字熟語を書きましたが、私の今の心境を現すものです。道元禪師(※)に「修証一如」という教えがあります。修とは修行のことで、証とは悟りの境地のことです。つまり、修行の果てに悟りがあるのではなく、修行することと悟りを開くことは一つである、修と証には因果関係はない、という教えです。修行というのは、何か特別なことをするわけではない。全世界のすべて、日常に関わるすべてのものが真理を現わしているのだから、日々生きていくことがそのまま修行である。どんなことがあっても、全身全霊をもって生きていく。という姿勢です。トップスに入会した当時は、会長はクラブでも文武両道優れた人格者で、人間的に完成した方がなれるものだと思っていました。でも今期私が会長をさせていただくと言うことは、今会長職を経験して修行？をすれば、クラブをより理解でき人間的にもさらに成長するだろうと、期待を込めて選んでいただいたのだと理解し、やる気満々です。(※)鎌倉時代の禅僧。曹洞宗の開祖。13歳で仏門に入り、23歳で渡宋。帰国後、越前国に永平寺を開き、「仏法の正門は座禅にある」とし、足掛け10年にわたって『正法眼蔵』を執筆・編纂。多くの弟子を育てた



京都トウビーワイズメンズクラブ
会長 田中和幸

<会長主題>共生。「共生」とは、
共に生かされ、共に生きること。

クラブをより活性化する為には、メンバー数の増加が必要不可欠です。ここ数年の間、クラブの最重点課題としてメンバー数の増強を挙げて活発なEMC活動を行っているにも関わらず、メンバー数は横ばい状態が続いている。今期も例年と同じ様にメンバー増強を期の目標に掲げます。新メンバーを招き入れるには何が必要なのか。何が欠けているのか。を再度考えていきたい。新メンバーの獲得の為には、活発で有意義で、かつ楽しい活動を維持することが第一です。すべてのメンバーがメンバー増強に向けて動き、一人、二人、三人・・・と、メンバー増強が見えてくることによりメンバーのモチベーションが向上し、次の飛躍へとつながる。こういった形でのクラブの発展を目指していきたい。このことが「メンバーとクラブの共生」となり、「クラブとクラブの共生」そして、すべての「共生」に繋がっていくと信じます。来ていただいたゲスト・ビジターの皆様、「また来たい」

とさせていただく例会を企画し、常にゲスト・ビジターが絶えることのない例会を実現していくこと。このことがメンバーの増強やクラブ内外との「共生」につながると考えます。

また、他クラブの例会・事業への積極的な参加を推し進めると共に、他クラブに対し例会・事業のアピールを行い、クラブを超えた繋がりを作っていきたいと考えます。当クラブの例会・事業への他クラブのメンバー参加をお待ちしております。



京都東稜ワイズメンズクラブ
会長 小出石文明

<会長主題> 「絆」会員相互の
パワー結集 縦横のつながり蜜に

クラブを開設して5年が経ちました。キーメンバーの方たちのご努力によりようやく形が見えてきました。それを踏まえてさらなるステップアップをしていきたいとおもっています。

山科の地に産声をあげたクラブですし少しでも地元にお役に立てればと 通常例会のテーマをみなさんが参加しやすい題材にしたいと思っています。今期のスローガン“絆”ですのでまずは会員相互の意識をあげるべく家族をまじえたイベントにも力をいれていきたいと思ひます。もちろん他クラブへの例会相互参加呼びかけをしクラブ同士の絆を高めていきたいと思ひます。

また当然クラブが発展していくためには会員増強が不可欠です。クラブの例会に参加していただきやすい題材にして多くのゲストに参加して頂きクラブを知っていただきクラブ入会を勧めていきたいと思ひます。形で入るのでなく心と心で触れ合う楽しく明るいクラブにしていきたいと思ひます。



京都ウェルワイズメンズクラブ
会長 中村隆司

<会長主題>
『One For All, All For One』
～ひとりみんなのために、みんなはひとりのために～

会長を務めさせて頂くにあたっての抱負と致しましては、今現在メンバー減少によって低迷し続けている自クラブの立て直しが全てだと考えております。

チャーター以降1～2年はメンバーもそれなりに在籍しており活気のあるクラブでした。しかし年々メンバーが減り、残ったメンバーにかかる負担が増え、それが重荷になりまた退会者が出てしまう、その様な悪循環の繰り返しによって今の状態になってしまっている訳ですが、なぜメンバーが減ってしまったのか、なぜメンバーが増えないのか、やはりそれが一番のポイントなのです。

そこで私は、もう一度メンバー全員が初心に戻り、熱い気持ちを持って頑張り、クラブに活気を戻し活性化させ、退会者を出させず、新入会員が一人でも増えるクラブに

立て直せる様先頭に立って引っ張って行く所存です。今期ウェルクラブは節目である5周年を迎えます。この5周年例会を、メンバー全員で力を合わせ、一致団結し成功させる事が一つのきっかけになるはずでして、10周年を目指して行けるクラブに立て直し、次期会長にバトンタッチしたいと考えております。メンバーの皆様にも、エクステンションをする為に頑張っていた時の気持ちを、チャーターナイトに向かって一生懸命頑張っていた時の気持ちを、入会する時の新鮮で希望に満ちた気持ちを今一度思い出して頂ける様務めさせて頂きます。

*** 強調月間リスト ***

年	月	内容
2009	7	Kick-off EMC-C
	8	Youth Activities
	9	Menette
	10	BF
	11	Public Relations Wellness
	12	EMC-M
2010	1	IBC ・ DBC
	2	TOF ・ CS ・ FF
	3	EF ・ JWF
	4	YMCA サービス ASF
	5	LT
	6	評価・計画
通年		PR

希望は京都から



第14回 京都部 部会 開催のご案内

ホストクラブ 京都洛中ワイズメンズクラブ
協力クラブ 京都ウエストワイズメンズクラブ
京都みやびワイズメンズクラブ

開催日 2009年9月13日(日)

会場 京都全日空ホテル 平安の間
(堀川通二条城前 TEL075-231-1155)

登録	受付	14:00~
開会 一部	式典	15:00~16:10
	講演	16:20~17:20
	横田 滋 様	
	横田早紀江 様	
三部	懇親会	17:40~20:00

登録費 10,000円

お問い合わせ

E-mail:ys.kyoto14bukai@gmail.com
(080-1434-3462 担当 荒木)
☎ 075-841-2082